

ポンポンすると雪みたい！

4歳児 たんぼぼ組 2月10日（木）～14日（月） たんぼぼ組保育室



綿をガーゼで包んだものに白い絵の具をつけてポンポンすると、「雪みたい」と子どもたちからの声が聞こえました。

「このポンポンした雪で何を作ってみたい？」と問いかけると、「雪だるま」「雪うさぎ」「ひつじ」など、作りたいもののイメージがあるようでした。画用紙の色が見えなくなるまでポンポン頑張りました。

14日は、乾いた絵の具の上に、折り紙をつけたり、ペンで描いたりしながらイメージしたものを制作しました。雪のフワフワから羊や魚を想像して製作する姿も見られました。



<保育の振り返り>

- 雪だるまの見本を作ったことで、同じものになってしまうのではと予想していたが、「雪うさぎ」や「ひつじ」など、自分の作りたい物を考えて制作に取り組む姿が見られた。
- のりをつける量や、のりした紙を使う理由などを考えずに制作する姿も見られたため、個別に教えることや、のりの使い方について始まる前に全体に話しておく良かった。

<育ちの芽生え>

- ◎思考力の芽生え
- ◎豊かな感性と表現